

令和4年度第3回川口市文化芸術審議会 会議録

日 時 令和4年10月11日（火）15時～17時

場 所 川口市立中央ふれあい館 講座室2号

出席者 (委員) 原田会長 丸山副会長 川上委員 鈴木委員 寺久保委員 山下委員
宇田川委員 青木委員 伊藤委員 望月委員 大西委員 齋藤委員
川田委員 永井委員
(事務局) 濱田教育総務部長 藤田文化推進室長 田口主幹
桑原アートギャラリー館長 菅井主査

議事録

1 開 会

2 会長挨拶

3 議事

・議事 (1) アートギャラリーの指定管理者による管理運営について

【説明】 (事務局より説明)

【質疑・意見】

(委員) 意見が三つある。1つ目は、郷土愛の醸成である。答申書のどこかに郷土愛について入れる必要があると思う。2つ目は、デジタルの発信について、答申書には発信の一方向だけになっているように思う。発信があれば返信も不可欠である。3つ目として、美術教育についてで、作者の哲学を伝えるためにも作者との距離、対話が大事だと考える。

(会長) 郷土愛の醸成は、全ての政策に繋がるものであり、基本的なことになるので、1番目あたりがよいのではないか。

(事務局) 郷土愛の醸成は、非常に重要なことであると思っている。答申書(案)の1番目は、教育的な内容なので、「郷土愛の醸成」について、記載する方向で考えていきたい。2番目の発信に対する返信については、指定管理者との協議の中で、意見を参考にさせていただく。3番目の作者との対話については、アーティスト・トーク等で、作者と対話できるような事業となるように、指定管理者に働きかけていきたい。

(委員) 9番について、答申書(案)の3に開館時間とあるが、もう少し色々なケースに対応できるような開館時間の延長等というのでも検討していただくとよい。

(事務局) 毎日というのは難しい。展覧会等でスポット的に曜日を決めて、開館時間を延長する等、指定管理者と協議させていただきたい。

(会長) 大勢の子ども達に観てもらうには、イベントによって開館時間の延長をする等も含めて、柔軟に対応することも重要だと思う。子ども達が参加しやすくするためにも事務局から指定管理者に要望していただくとよい。

(委員) 11番について、川口といえば演劇で有名な方が出たところでもあるので演劇についても入れていただきたい。例えば朗読や現代アートなどは、いろいろな美術館でもやっているの、工夫をして欲しい。

- (事務局) 演劇もそうだが、俳句と絵画の組み合わせ等、いろいろなコラボレーションが考えられるので指定管理者と協議して参りたい。
- (委員) そのほかに伝統芸能の能や邦楽などのジャンルも含めて、川口市には活動している人がいるので、面白い企画が出てきて楽しめると思う。
- (事務局) いろいろな組み合わせがあると思うので、よく指定管理者と協議して参りたい。
- (委員) 高校生や大学生といった若い人たちがギャラリーに来ていただく工夫を考えなければいけない。写真を撮って人に伝えたいようなことを考える必要がある。SNSを活用しながら情報発信する等、若い方とのか関わり合い方を検討してもらえるよう答申に入れられないか。
- (事務局) 答申のところに入れ込むのは少し難しい。いただいたご意見は全て一覧表にして指定管理者との協議の中で使っていくよう考えている。
- (会長) 答申書の中でデジタル技術を活用するとある。指定管理者への条件書の中に配慮するよう入れていただくとよいと思う。
- (委員) アトリアの前に小円形劇場のようなものをつくり、バンドなどが出来る場所を提供できれば賑やか場所となる。また、建物の壁面に大きな液晶パネルをはめ込めば、デジタルアートとして通りがかりの人が見てくれるようになる。ここに美術施設があることを知らない人がいると思うのでよい。アトリアの裏側の通りには、手入れの行き届いた立派なさるすべりの木が3本ある。ただのイベント会場ではなく、暮らしに密着するような場所として、木陰にベンチやフットライト等を設置し、憩いの場所、素敵な場所があると思っただけの場所となればよいと思う。
- (事務局) アトリアは、サルスベリは素晴らしいが、ハード的な問題として、入口が歓迎しているように見えず、見た目も倉庫にしか見えない。しかし、アトリアは寄贈していただいた建物のため、制約があり工夫が必要である。指定管理者に管理してもらう際は、この施設が何の施設かわかるような表示にしていく必要がある。入館者数を増やすためにも委員の意見を参考にさせていただきたい。
- (委員) 郷土愛という意見について、川口の特色にはこれというイメージが無い。鋳物という意見もあるが、若い人には、オリンピック時に聖火台として使われたという話を聞いたことがあるだけで、正直鋳物というイメージもない。アート施設としてアトリアとはどういうギャラリーなのか。いろいろな事が出来る施設だとは思いますが、年賀状展であるとか、現代アートであるとか、印象的には方向性がぼんやりしている。そのあたりを指定管理者の方と評価していきたい。コラボレーションについては、美術展示の際にコンサートを開催し、来場する方から少しでも入場料をいただくことで、出演者へ支払いが出来る。音楽家も川口には大勢いるので、お金をかける企画ではなければ、月1回など継続して企画することで定着すると思う。
- (事務局) 川口の特色というと鋳物と植木しか出てこない。川口らしさとなると、難しいところがある。文化推進室では、市の行事で演奏していただいたりするアーティスト登録制度を実施しているが、市の行事に限るので機会が多いわけではない。指定管理者からの要望があった際は、アーティストを紹介することも出来ると考えている。いろいろな可能性があ

るので指定管理者と協議しながら、どのようなことが出来るのか考えていきたい。

(会長) アートギャラリーなので、絵や彫刻等の美術が主役となる施設であるが、季節やテーマによって、音楽や舞台等とコラボレーションしていただくことも検討いただきたい。

(委員) 2番について、目で見ただけでなく触って体感できるものもあっていいと思う。彫刻や油絵のゴツゴツした手触りは子どもにとっても面白い。

(事務局) 障害を持っている等といろいろな方がいらっしゃる中で、一つのいい考えだと思う。どんな方でも平等に美術を楽しめる環境にしなければならないと考えている。

(委員) 鳩ヶ谷地区に郷土資料館の考古学の展示が面白い。そこでも土器などを触ってもいいというコーナーもあったので楽しめた。

(委員) 情報提供として、川越市立美術館があり、タッチアートコーナーというものがある。そこは企画展だが、一部触れてもよいという作品があり、障害者の方が気軽に入って触れるものも置いておく。それを出来る作家を呼んで開催している。

(委員) 川口市内に県立美術館で障害者の作品展を開催するなど、活動をされている団体がある。織りの作品や絵画等その作品を販売する、値段が付くようなアートの拠点となっているので、そういうところと連携してはどうか。

(事務局) これからいろいろ話し合いの中で情報として参考にさせていただきたい。

(会長) 視覚障害者が集まる席でピアノを弾いたことがあり、すごく盛り上がった。言葉では進まなかった話も、一緒に歌うと盛り上がった。アートは人の心を盛り上げる役に立つ。

(会長) 今までの話を整理すると、郷土愛について答申書案に入れてもらうこと。具体的なお意見については事務局が整理をし、指定管理者に対して具体的に発注条件書などに入れていただくということによろしいか。

(委員) 文化ジャンル間のコラボレーションを入れた方がよい。

(事務局) 1番に郷土愛について、3番にコラボレーションについて加えることは可能である。

(会長) 本日の内容を踏まえて事務局に答申案を再検討いただき、再度委員の皆様にお送りいただいてご意見をいただき、最終の答申案としたい。

【承認】 (全員承認)

4 その他

・答申案について

(事務局) 答申案の1番と3番について修正し、再度皆様にお送りさせていただきたい。確定後、会長から教育委員会に答申書を11月中に提出していただければと思っている。

・アトリアで気付いたこと

(委員) アトリアのライトについて、照らされているところと影になっているところがあり、残念であったので改善できる方法はないものだろうか。

(事務局) ライトの調整は、借りている方の指示により職員が設定している。調整はしているが、ライトの数も限られているためそういう場所もあったのかもしれない。

5 閉会